

6. 男女共同参画社会

(1) 男女の地位についての意見

問 22 あなたは、次にあげるそれぞれの分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。
1～8のそれぞれの項目について、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。
(○はそれぞれ1つずつ)

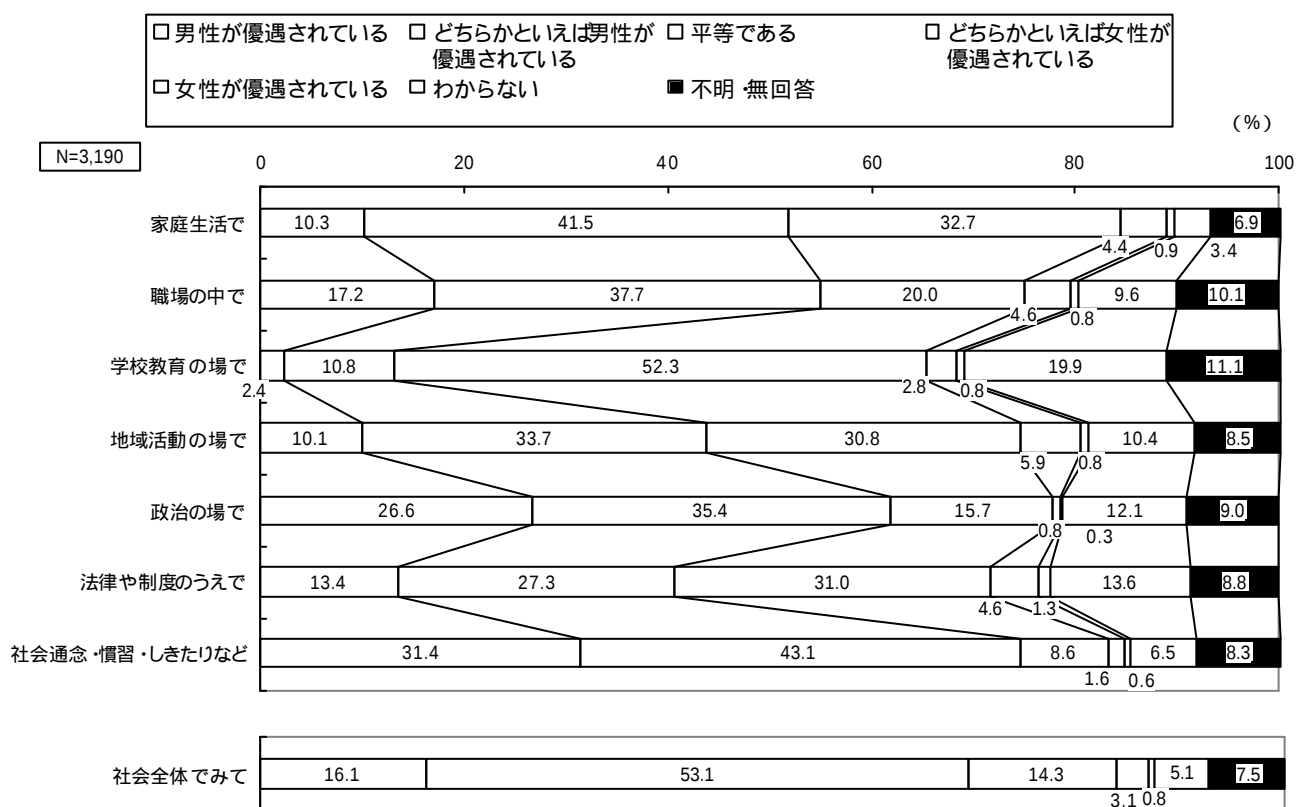
■『男性が優遇されている』は「社会通念・慣習・しきたりなど」が最多

7つの分野と社会全体の合計8つの項目について、男女の地位が平等になっていると思うかをきいている。

各分野をみると、『男性が優遇されている』(「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」の合計)が最も多いのが「社会通念・慣習・しきたりなど」(74.5%)、次いで「政治の場で」(62.0%)、「職場の中で」(54.9%)となっている。

一方、『女性が優遇されている』(「女性が優遇されている」と「どちらかといえば女性が優遇されている」の合計)はどの分野でも1割に満たない。また、「学校教育の場で」では「平等である」が52.3%と他の分野より多くなっている。

社会全体では『男性が優遇されている』は69.2%、「平等である」は14.3%、『女性が優遇されている』は3.9%となっている。



■家庭生活で

【地域別】

『男性が優遇されている』は、湖北地域が58.8%と他の地域と比べて若干多くなっている。「平等である」は湖西地域が25.4%と他の地域より少なくなっている。

【性別】

『男性が優遇されている』は女性（59.2％）が男性（43.7％）を 15.5 ポイント上回っている。

「平等である」は男性（40.6％）が女性（26.0％）を 14.6 ポイント上回っている。

【性・年代別】

『男性が優遇されている』は、男性の 40 歳代（56.7％）と女性の 30 歳代（61.1％）、40 歳代（68.2％）、50 歳代（61.7％）、60 歳代（62.0％）が、他の年代よりも多くなっている。

「平等である」は男性の 20 歳代（47.3％）、30 歳代（45.7％）、50 歳代（43.3％）で多くなっている。

■職場の中で

【地域別】

『男性が優遇されている』は各地域とも 50％台で、湖南地域の 59.6％が最も高い値となっている。

【性別】

『男性が優遇されている』は女性（59.9％）が男性（49.9％）を 10.0 ポイント上回っている。

「平等である」は男性（27.3％）が女性（13.6％）を 13.7 ポイント上回っている。

【性・年代別】

『男性が優遇されている』は、男性の 60 歳代（65.3％）と女性の 20 歳代（74.5％）、30 歳代（64.6％）、40 歳代（69.0％）、50 歳代（64.4％）が、他の年代よりも多くなっている。

「平等である」は男性の 30 歳代（31.7％）、40 歳代（31.6％）、50 歳代（34.4％）で多くなっている。

■学校教育の場で

【地域別】

各地域とも「平等である」が最も多く、50％前後となっている。『男性が優遇されている』は東近江地域（6.3％）を除き、各地域で 10％台となっている。

【性別】

男女とも「平等である」が最も多く、男性（56.9％）が女性（49.1％）を 7.8 ポイント上回っている。『男性が優遇されている』は女性（15.8％）が男性（10.2％）を 5.6 ポイント上回っている。

【性・年代別】

女性の 70 歳以上を除き男女各年代とも「平等である」が最も多い。『男性が優遇されている』は、女性の 20 歳代（17.7％）、40 歳代（17.4％）、50 歳代（17.6％）、60 歳代（17.2％）で他の年代よりもやや多くなっている。

■地域活動の場で

【地域別】

『男性が優遇されている』は湖北地域（55.4%）、甲賀地域（52.0%）で50%を超えている。

「平等である」は大津・志賀地域（36.9%）、湖南地域（34.6%）、湖東地域（34.4%）が他の地域を10ポイント前後上回っている。

【性別】

『男性が優遇されている』は女性（48.9%）が男性（38.3%）を10.6ポイント上回っている。

「平等である」は男性（36.6%）が女性（25.9%）を10.7ポイント上回っている。

【性・年代別】

『男性が優遇されている』は、男性の50歳代（43.1%）、60歳代（46.8%）と、女性の30歳代（43.0%）、40歳代（57.9%）、50歳代（58.7%）、60歳代（49.7%）が他の年代よりも多くなっている。

「平等である」は男性の20歳代（52.2%）を除き、男女各年代で20～30%台となっている。

■政治の場で

【地域別】

『男性が優遇されている』は湖東地域（59.4%）と湖西地域（55.6%）を除き60%台となっているが、各地域ともあまり大きな差はみられない。

【性別】

『男性が優遇されている』は女性（66.8%）が男性（57.0%）を9.8ポイント上回っている。

「平等である」は男性（22.7%）が女性（10.0%）を12.7ポイント上回っている。

【性・年代別】

『男性が優遇されている』は、女性の20歳代（79.5%）、30歳代（82.3%）、40歳代（77.5%）が他の年代よりも多くなっている。

「平等である」は女性の20歳代（8.2%）、30歳代（2.3%）、40歳代（7.4%）が他の年代より少なく、10%未満となっている。

■法律や制度のうえで

【地域別】

『男性が優遇されている』は、大津・志賀地域が44.5%で最も多く、湖東地域が35.0%で最も少なくなっている。

【性別】

『男性が優遇されている』は、女性（46.8%）が男性（34.2%）を12.6ポイント上回っている。

「平等である」は男性（40.1％）が女性（23.4％）を 16.7 ポイント上回っている。

【性・年代別】

『男性が優遇されている』は、男性の 50 歳代、女性の 20 歳代～60 歳代で 40％を超えており、特に女性の 30 歳代が 58.9％、40 歳代が 61.6％と他の年代より多くなっている。

■ 社会通念・慣習・しきたりなど

【地域別】

各地域とも『男性が優遇されている』が高い比率となっており、いずれも 70％台となっている。

【性別】

『男性が優遇されている』は女性（77.1％）が男性（72.8％）を 4.3 ポイント上回っている。

「平等である」は男性（11.5％）が女性（6.0％）を 5.5 ポイント上回っている。

【性・年代別】

『男性が優遇されている』は、男性では 40 歳代が 83.4％で他の年代より多く、女性では 20 歳代（82.7％）、30 歳代（83.4％）、40 歳代（87.9％）、50 歳代（82.9％）が、他の年代より多くなっている。

■ 社会全体でみて

【地域別】

『男性が優遇されている』は、湖北地域（74.0％）、甲賀地域（73.2％）、湖南地域（70.3％）の順に多くなっており、他の地域でも 60％台となっている。

【性別】

『男性が優遇されている』は女性（74.4％）が男性（63.9％）を 10.5 ポイント上回っている。

「平等である」は男性（19.4％）が女性（10.0％）を 9.4 ポイント上回っている。

【性・年代別】

『男性が優遇されている』は、男性では 40 歳代が 72.4％で他の年代よりも多く、女性では 20 歳代（81.4％）、30 歳代（79.3％）、40 歳代（83.4％）、50 歳代（76.1％）、60 歳代（73.7％）で多くなっている。

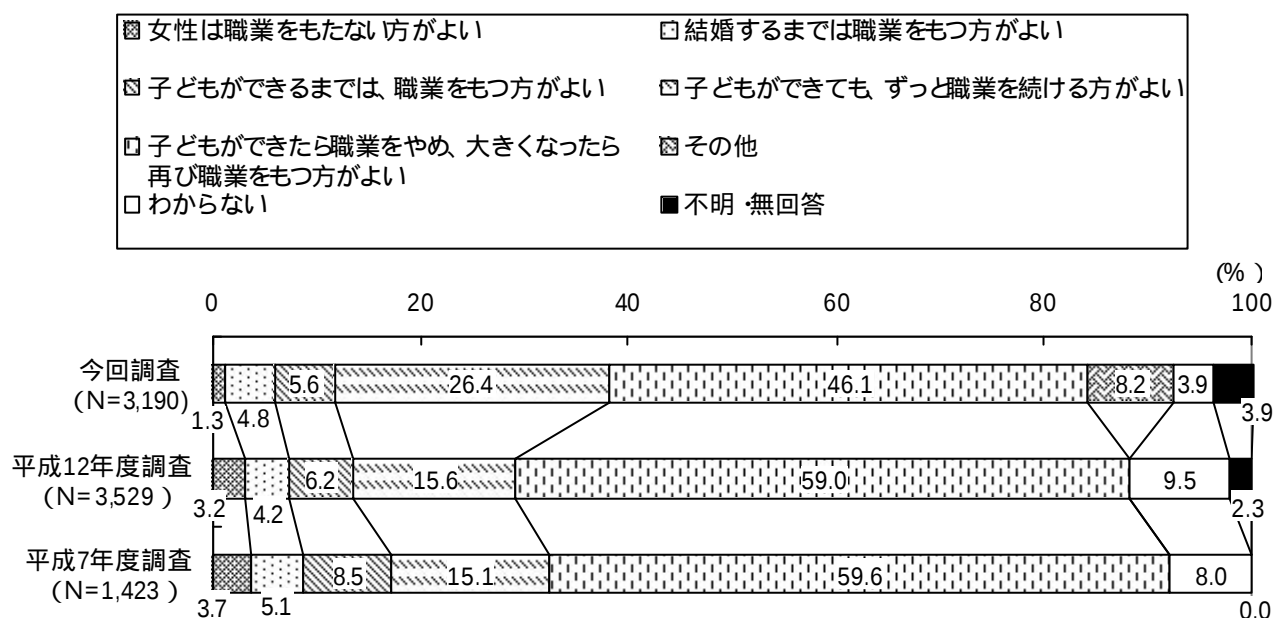
(2) 女性が職業をもつことについて

問 23 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか。1つだけ選んでください。(○ は1つだけ)

■ 「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」と考える人が増加

女性が職業をもつことについて、「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が 46.1%と最も多く、次いで、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」が 26.4%となっている。

過去の調査と比較すると、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」が平成12年度調査より 10.8 ポイント増加しており、逆に「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」は 12.9 ポイント減少している。



平成7年度、12年度調査の選択肢

1. 結婚するまで働くのがよい
2. 子どもができるまで働くのがよい
3. 子どもができたならやめ、手がかからなくなればまた働くのがよい
4. ずっと働くのがよい
5. 女性には外に出て働かない方がよい
6. わからない

【地域別】

各地域とも「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が最も多くなっている。中でも東近江地域は 56.3% と他の地域よりも多く、最も少ないのは湖南地域の 39.5% となっている。一方、2 番目に多い「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」は、湖南地域が 31.2% と最も多く、東近江地域が 18.0% で最も少なくなっている。

【性別】

男女とも大きな差は無く、「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が最も多く、次いで「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」が多くなっている。

【性・年代別】

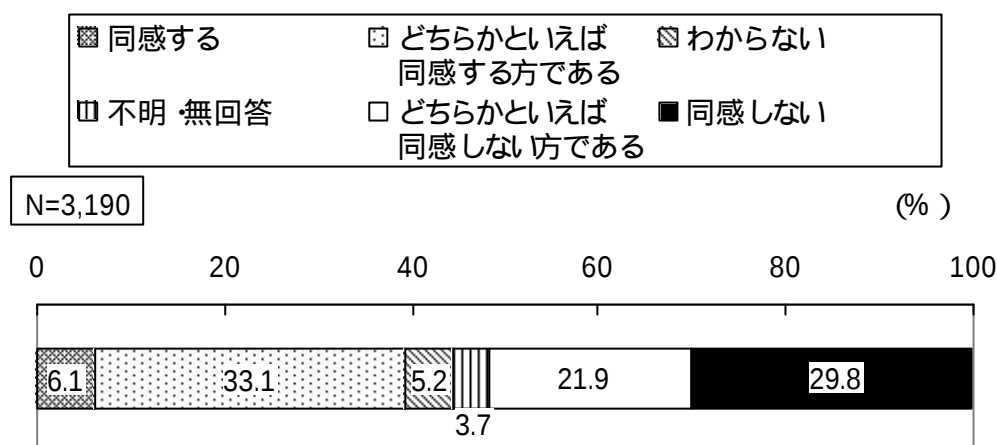
男女各年代とも「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が最も多い。また、女性の 70 歳以上を除き男女各年代で「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」が 2 番目に多くなっており、女性の 70 歳以上では「結婚するまでは職業をもつ方がよい」が 2 番目に多くなっている。「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」は、男性の 20 歳代、30 歳代、50 歳代と女性の 20 歳代～40 歳代が 30% 台で、他の年代よりも多い。

(3)「男は仕事、女は家庭」という考え方について

問 24 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたの考え方に最も近いものを、1つだけ選んでください。(○は1つだけ)

■「同感しない」と「どちらかといえば同感しない方である」の合計が51.7%

「男は仕事、女は家庭」という考え方について「同感する方」(「同感する」と「どちらかといえば同感する方である」の合計)が39.2%、「同感しない方」(「同感しない」と「どちらかといえば同感しない方である」の合計)が51.7%となり、「同感しない方」が「同感する方」を上回っている。



【地域別】

湖北地域を除き「同感しない方」が「同感する方」を上回っている。中でも大津・志賀地域では「同感しない方」が58.8%、湖南地域では59.6%で他の地域よりも多くなっている。湖北地域では「同感する方」が49.0%、「同感しない方」が41.2%となっている。

【性別】

「同感する方」は男性が43.1%、女性が36.0%、「同感しない方」は男性が49.0%、女性が55.0%となっており、男女ともに「同感しない方」が「同感する方」を上回っている。

【性・年代別】

「同感する方」が多いのは男性の60歳代(50.9%)、70歳以上(56.5%)および女性の70歳以上(56.7%)で、いずれも「同感しない方」を上回っており、その他の年代では男女とも「同感しない方」が「同感する方」を上回っている。

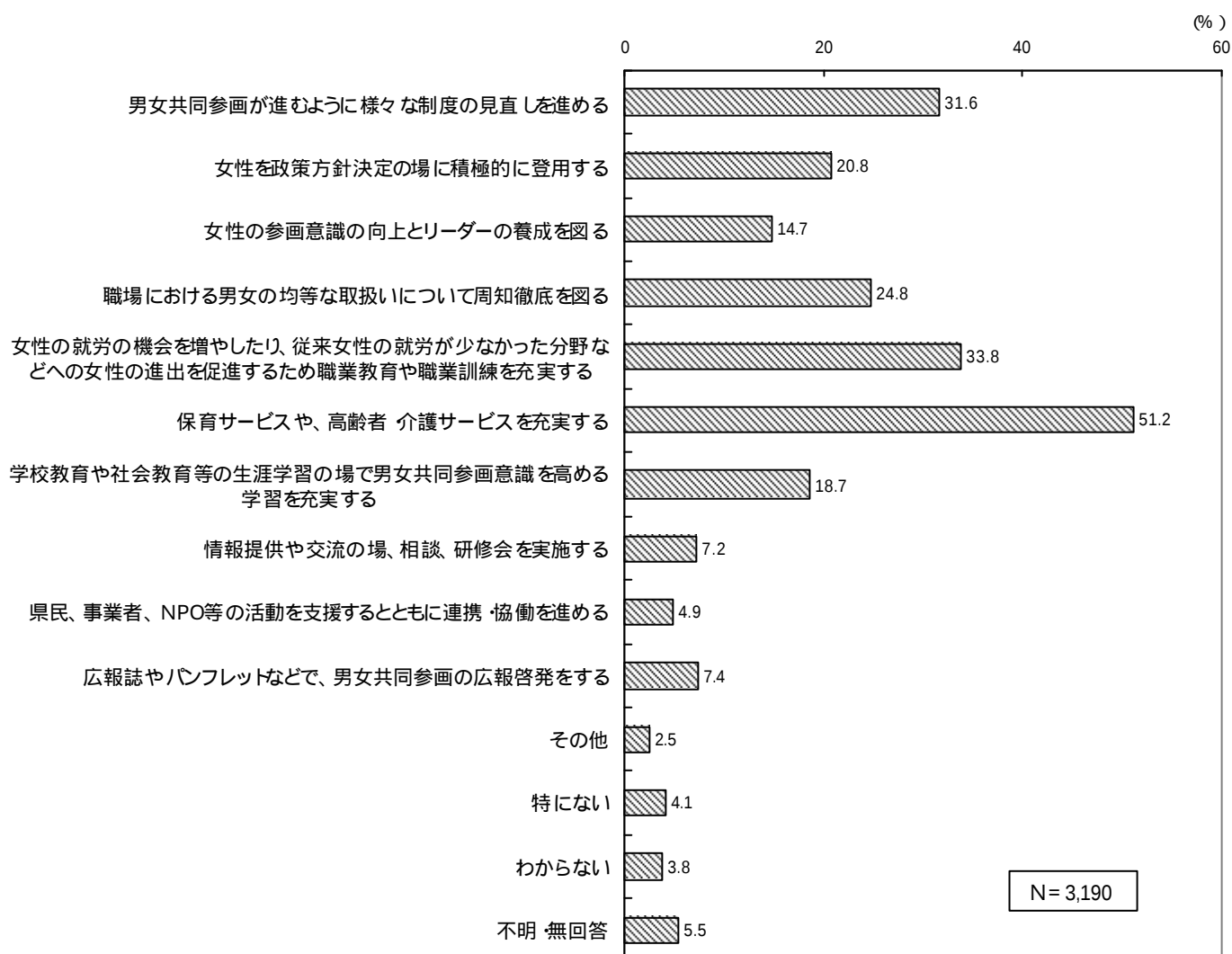
「同感しない方」は男性の20歳代(64.1%)、女性の20歳代(70.0%)、30歳代(66.4%)、40歳代(69.7%)が他の年代よりも多くなっている。概ね「同感する方」は男女とも年代が上がるにつれて多くなっており、「同感しない方」は男女とも年代が若いほど多くなっている。

(4) 男女共同参画社会を実現するために必要な施策

問 25 地域において、男女共同参画社会を実現するために、県は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。この中から3つまで選んでください。(○は3つまで)

■ 「保育サービスや、高齢者・介護サービスを充実する」が最も多く 51.2%

今後力を入れていくべき施策としては、「保育サービスや、高齢者・介護サービスを充実する」が最も多く 51.2%、次いで「女性の就労の機会を増やしたり、従来女性の就労が少なかった分野などへの女性の進出を促進するため職業教育や職業訓練を充実する」が 33.8%、「男女共同参画が進むように様々な制度の見直しを進める」が 31.6%となっている。



【地域別】

各地域とも傾向に大きな違いはなく、「保育サービスや、高齢者・介護サービスを充実する」が最も多く、次いで「女性の就労の機会を増やしたり、従来女性の就労が少なかった分野などへの女性の進出を促進するため職業教育や職業訓練を充実する」、「男女共同参画が進むように様々な制度の見直しを進める」が多くなっている。

【性別】

性別でも傾向に大きな違いはないが、「保育サービスや、高齢者・介護サービスを充実する」については女性（58.3%）が男性（43.7%）を14.6ポイント上回っている。

【性・年代別】

男性の70歳以上を除き、男女全ての年代で「保育サービスや、高齢者・介護サービスを充実する」が最も多くなっており、特に女性の20歳代における61.4%、30歳代における66.4%など、70歳以上を除く女性の各年代において高い値となっている。

男性の70歳以上では「男女共同参画が進むように様々な制度の見直しを進める」が最も多く42.2%、次いで「保育サービスや、高齢者・介護サービスを充実する」が40.5%となっている。

また、「職場における男女の均等な取扱いについて周知徹底を図る」では、男性の20歳代が32.1%、40歳代が30.0%、女性の20歳代が34.5%で他の年代より多くなっている。